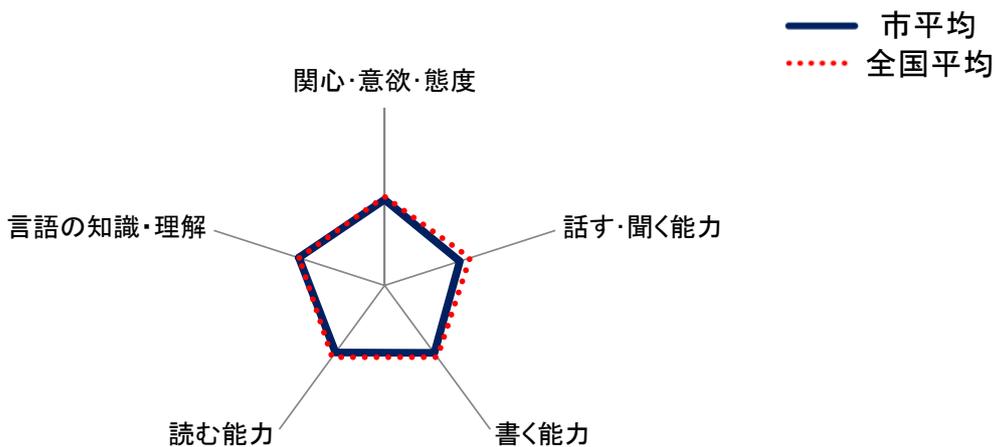


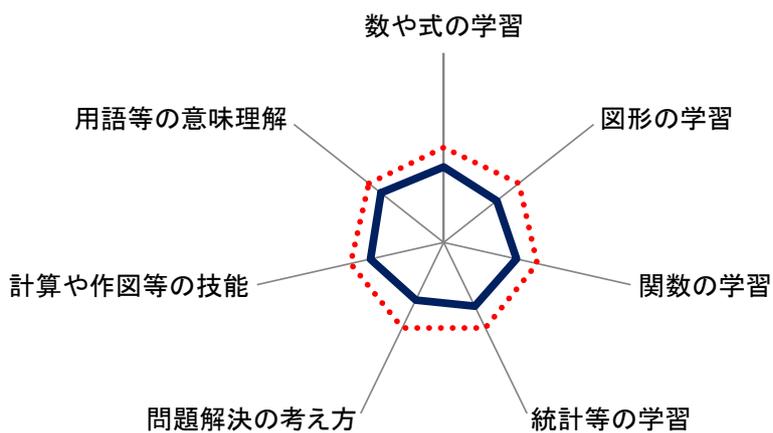
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

※ グラフはA問題とB問題の平均で表示

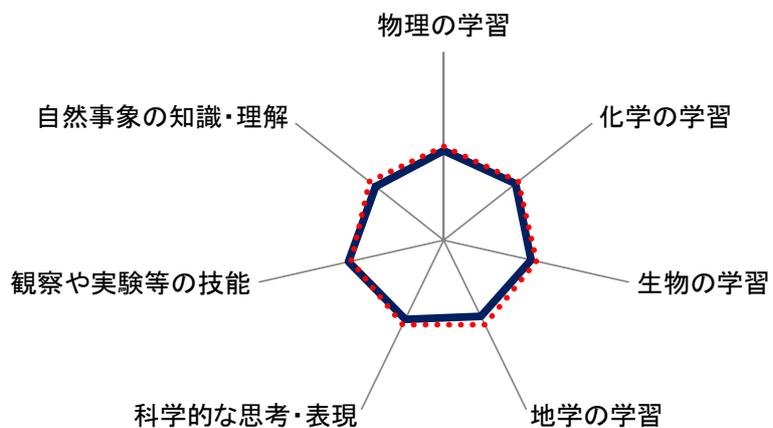
【国語】



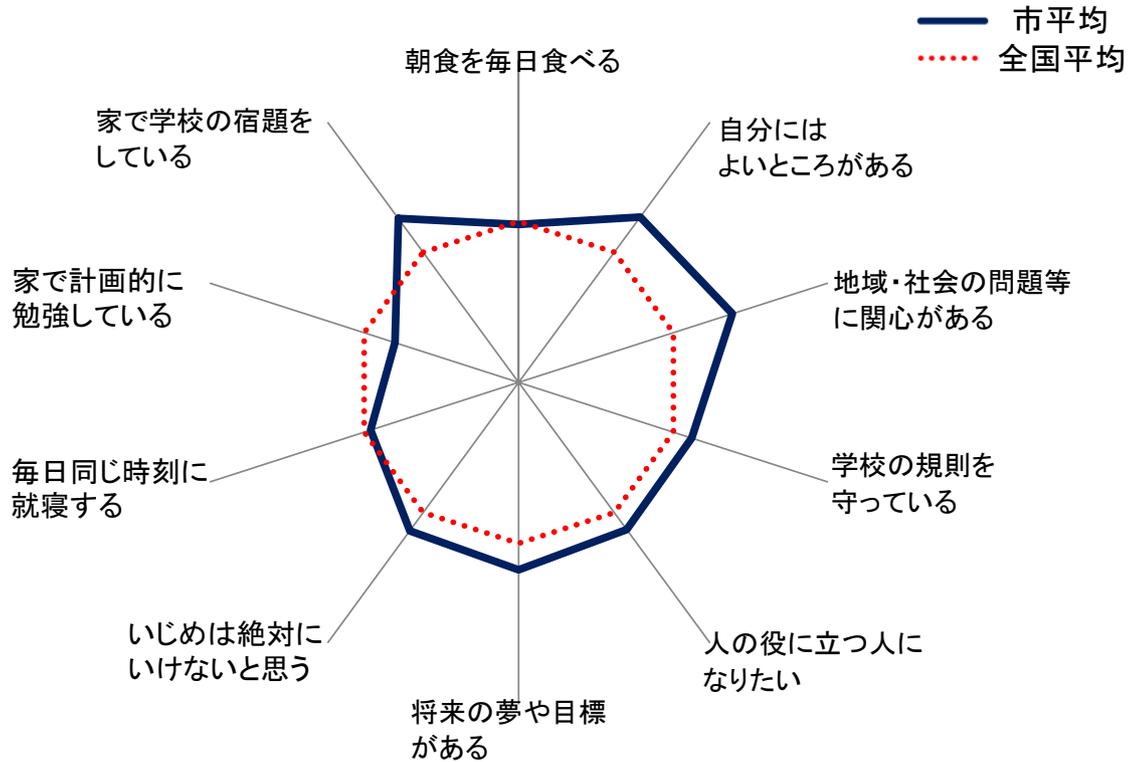
【数学】



【理科】



○ 生徒質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語は「言語の知識・理解」、理科は「観察や実験等の技能」の項目で全国平均を上回っており、その他の項目については全国平均とほぼ同じかやや下回る程度で、バランスの取れた学力が身に付いていることが分かる。数学は全国平均を上回っている項目がなく、特に「図形の学習」の項目が全国平均を大きく下回っており、数学全般に関して課題があると考えられる。今後、数学に対する苦手意識が少なくなるよう、「楽しい授業、分かる授業」に向けての授業改善に更に市全体で取り組むとともに、生徒一人一人の実態に応じたきめ細やかな指導を継続することが望まれる。

生徒質問紙調査では、自尊感情や規範意識に関する項目で、肯定的な回答が全国平均を上回っている。特に「自分にはよいところがある」や「将来の夢や目標がある」の各項目は良好であり、中学校における指導の成果が表れている。小学校からの継続・連携した指導により、就寝時刻や朝食の摂取等の基本的な生活習慣の確立に努めるとともに、「家で計画的に勉強する」など、主体的に取り組むことのできる生徒の育成に向けての指導が望まれる。